

第1学年2組 道徳学習指導案

平成23年6月14日(火) 第5校時

1. 主題名 規律ある態度(靴揃え) 1-(1)
資料名 「父の一言」(出展「彩の国の道徳」中学校『自分を見つめて』埼玉県教育委員会)

2. 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

内容項目1-(1)では「望ましい生活規律を身につけることが人としての成長にも深く関わっていることに気づき、自ら進んで規律ある生活を身につけていこうとする態度を育てる。」ことをねらいとしている。保護者の規範意識が劇的な変化を遂げている今、生徒に生活規律の価値を浸透させることは昔と比較にならないほど難しい。

中学校生活はまだ端緒についたばかりの生徒たちに、規律ある生活の中で自分を伸ばすことについて考えさせる意義は小さくない。結果ばかりが求められる現状で、課程や規律を軽視したいびつな成長を遂げさせないように、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態について

(3) 資料の活用について

中学校2年生の「私」が父にぶつけた言葉「靴そろえなんかができたって、テストで点は取れないよ。」という言葉は、まさしく本学級の生徒たちの意識である。その「私」が『外相整って内相自ずから熟す』という心境になるまでの経過は生徒たちにとっても、共感的に受容される可能性が大きい。工芸職人である父とテニス部顧問の先生の言葉が「私」の中でつながり、変容を促していく。全く世界の違う2人の言葉が深いところで重なり、「私」の中で響いていく展開は、「そういえば私たちの中にも細かい規律を蔑ろにしていたところがなかったのか」と生徒たちに問いかけることになる。父の生き方を象徴する言葉が、圧倒的な迫力で生徒たちにせまる。だから、本教材こそが生徒に考えさせたい価値に結びつく最適な資料であると考えられる。

3 ねらい

望ましい生活規律を身につけることが、人として成長にも深く関わっていることに気づき、自ら進んで規律ある生活を身につけていこうとする態度を育てる。

4 他の教育活動との関連

事前指導	・「靴をそろえると成績が上がる」についてアンケートを実施する。
校外学習	・「いいところ探し」 班内他の生徒の肯定的評価を行う。 評価の観点としてだれのおかげでスムーズな行動ができたのかを考えさせる。 教室内に掲示して認め合う。
道徳の授業	・上級学校を訪ねて 4 - (1)
事後指導	・生活記録ノートで変容を認めていく。

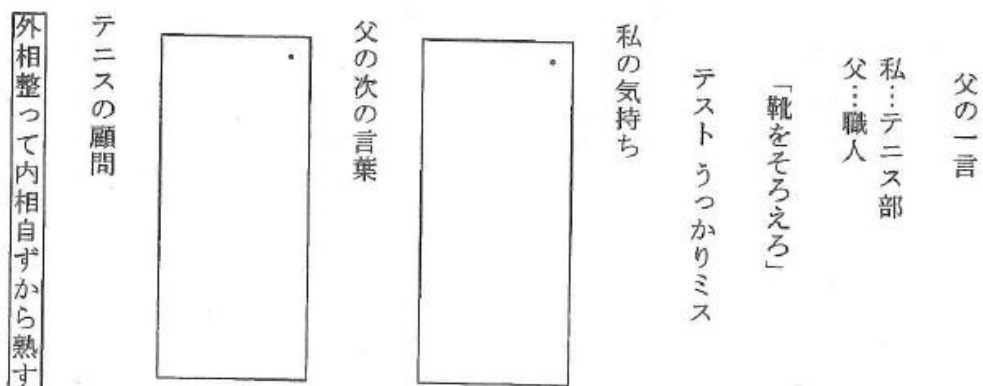
5 展開

	学習活動 (主な発問)	生徒の反応	・指導の留意点 ☆評価の観点
導入	1 ロールプレイングでT 1とT 2 が私と父の言い合いの場面を見て課題をつかむ。		・状況の説明を簡単に入れる。 ・T 1 が生徒のジャージを借り雰囲気を出す。
	<p>T 1 「またテストでうっかりミスをしちゃったよ。」</p> <p>T 2 「お前はいくら言っても靴をそろえることができない。だからテストでも思うようにできないんだ。」</p> <p>T 1 「そんなこと関係あるわけじゃないか。靴そろえなんかできたってテストで点は取れないよ。」</p>		
展開	・T 1 が言い返した時、どんな気持ちだったのかワークシートに書き出してみる。	・テストでミスをしてイライラしている時に関係ないことを言われて頭にくる。 ・うっとうしい。 ・こういう機会に普段言いたいことをいいやがって。	《ねらいへの誘導》 ☆T 1 の立場に感情移入し、保護者に反抗しているような気持ちになっているかどうか。 【資料記入評価】
	<p>・生徒の反応として靴をそろえたりすることは学業と無関係の些末なこととして捉えていることを確認させる。単に感情的な物言いで、話がそれていかないように机間指導して助言していく。</p>		
	・班単位で話し合い、班長が発表する。 ・立場を変えてT 2 の次の言葉を予想する。	・おまえの為を思って言っているんだ。 ・関係あるよ。お父さんはそうやって頑張ってきたんだよ。	・うまく視点の転換ができない生徒がいると予想されるので随時、学び合い活動を入れる。

	学習活動（主な発問）	生徒の反応	・指導の留意点 ☆評価の観点
	<ul style="list-style-type: none"> ・個人個人で挙手表。 ・T1とT2でロールプレイの続きをする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・指導の留意点 ☆評価の観点 ☆規律と成長との関わりが問題になっていること意識しているかどうか。【生徒の発言を評価】 ・教師との掛け合いで発表。
	<p><前回のRP繰り返し></p> <p>T2「おまえ今、『靴そろえなんか』といったな。でもおまえはその『なんか』すらきちんとできないじゃないか。偉そうなことはできるようになってから言え。」</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・父の一言に込められた意味を聞いて考えを深める。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・小さいことや細かいことは、どうでもいいことであり、大して価値がないものという生徒たちに、小さくて簡単なことをやりきらない自分の甘さや自己統制力のなさに気づかせる。規律正しい生活を自分の力でやりきる能力があれば、不注意によるミスなど激減することを理解させる。物事の表層にのみ目がいく姿勢を見直させていく。 		
終末	<ul style="list-style-type: none"> ・「父の一言」を聞き、ワークシートに今回の学習で学んだことをまとめる。 ・まとめたことを発表する。 ・教師の話聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・規律が有形無形の力となって自分の行動を変えていくことが分かった。 ・細かな生活規範の大切さに気づいた。 ・面倒くさい、どうでもいいという発想の後ろ側にある自分の甘さに驚いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 自己の成長を促す為に生活規範を進んで整えていこうとしているかどうか。 【資料記述分析】 ・これからの生活の中でこの道徳的価値をどう生かしていくのかを考えさせる。

6. 備考 在籍生徒数 男子17名 女子17名 合計34名

7. 板書計画



埋み火

1年2組学級通信7

○ 「父の一言」

白神「またテストでうっかりミスをしちゃったよ。」

奈良「お前はいくら言っても靴をそろえることができない。だからテストでも思うようにできないんだ。」

白神「そんなこと関係あるわけないじゃないか。靴そろえなんかできたってテストで点は取れないよ。」

① 白神の気持ちになって

感想

を

② 奈良先生の次の一言

③ 今回の授業で気づいたこと、考えたこと